

けやきの風



平成30年6月18日
第3号

はやいもので夏休みまで、1ヶ月となりました。今年度は、寒暖の差が激しく、早くから暑かった日もあり、体が慣れるまで大変だったと思います。子どもたちも、すっかり新しい環境に慣れ、がんばっています。各学級の授業の様子を参観しているのですが、授業に取り組む姿勢がしっかりしていて、集中している児童が多く、いい雰囲気の中学習が進んでいます。

一小クリーン大作戦 (PTA環境美化作業) お世話になりました。



6月2日土曜日。大変よい天気の中、PTAの皆様、子どもたちに集まっていただき、一小クリーン大作戦を実施しました。

校舎内の扇風機などの高いところやトイレ、プールの清掃、校庭の除草や側溝掃除など、普段学校ではできないような箇所の清掃をしていただきました。

特に今年は、学校評価のアンケートでもご意見をいただきました。登り棒の下の水たまりをなくすように砂場の砂を移動しました。砂場には、新しい砂に入れ替え、柔らかい砂場になるようにします。先日、大雨が降りましたが、登り棒の下はいい具合に歩けました。

土曜日にもかかわらず、たくさんの方々の力を貸していただき、子ども達はよりよい環境で毎日過ごすことができるようになりました。大変ありがとうございました。



救命救急蘇生法の講習会をしました

6月11日の週から、プールが本格的に開始しました。それに先立ち、5月30日に体育館で、救命救急蘇生法の講習会を行いました。

消防署の方に来校していただき、保護者の方と職員と一緒に講習を受けました。人形を使って、状態の見取り方や協力要請の方法、AEDの使い方と使用上の注意など、熱心に話を聞き、実際に体験



してみました。この講習会の成果を発揮することなく、無事に今シーズンが過ごせることを祈りつつ、熱心に取り組んでいただきました。

『特別な教科道德』が始まりました

新聞などでも紹介されているので、ご存じの方も多いと思いますが、今年度から、今までの「道德」が『特別な教科道德』として改訂され、授業実践が始まりました。

道德教育は、「自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道德性を養うこと」を目標にしてきました。今回の改訂では、目標とする方向性は変わりません。

では、何が変わるのでしょうか。主なものとして、次の3つの点があげられます。

一つは教科書が作成されたことです。今までは、副読本といったお話などの教材や自作の題材を使って授業をしていましたが、教科書を使って授業を進めます。

二つ目は、学習の成果を評価をすることになります。通知表にも、道德の評価が追加されます。保護者の皆さんは、今までになかった「評価」が気になるころだと思えます。道德科の目標は道德性の育成です。道德性は人格の基盤をなすものであり、数字などによる評価は適切ではないので、記述式で評価していきます。また、他者との比較ではなく、個々の児童に注目して、以前よりどれだけ道德的成長があったかを見取る内容になります。今までの、英語や総合的な学習の時間の通知表の評価方法と同じようなイメージになると思えます。よりよい評価方法になるよう、これからも継続して工夫していきます。

三つ目は、道德の授業を毎週確実に行うことになります。今までと同様に週1時間の道德を時間表に位置づけますが、必ず年間35時間(以上)の道德の学習をしていきます。

道德教育は、道德の時間だけでなく全教育活動で取り組むようにしていきます。学校教育目標にもあるとおり、「**思いやりのある心に溢れた、心豊かでたくましい一っ子を育成する**」よう努めてきたいと考えています。

道德についての参考資料として、教科書会社のホームページ上に、富岡栄先生(※)が執筆したわかりやすい解説がありますので、関心のある方はご覧ください。

※富岡栄先生は、高崎市立第一中学校で退職されたもと校長先生で、長年にわたり道德教育と特別活動を研究されてきました。今回の文科省から出された道德の学習指導要領の解説も執筆されており、昨年度は新町第一小にも講演にきていただいています。

参考：光村図書 ホームページ (Q&A形式で23問分の解説があります)

http://www.mitsumura-tosho.co.jp/tokubetsu_dotoku/column/qa/vol01.html

高崎市立新町第一小学校

検索

新町第一小学校の学校の様子は、ホームページから。

「学校名で検索」か「QRコードを読み込む」と
ご覧になれます。(スマホからも閲覧できます。)

